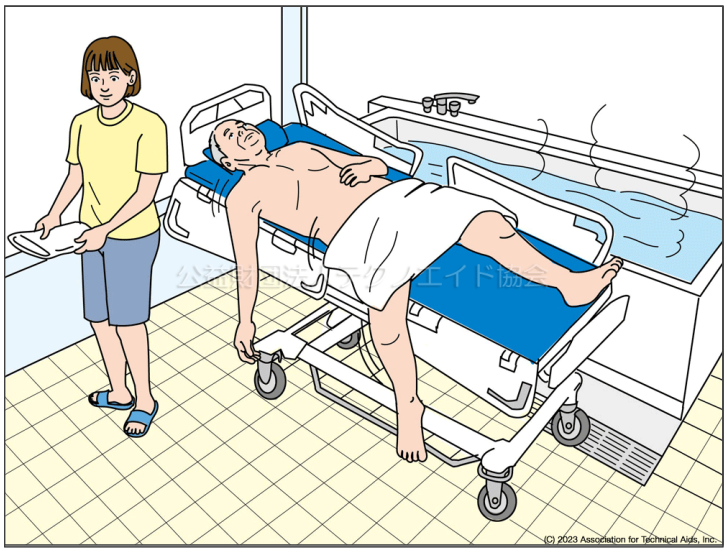
Case：396

入浴用ストレッチャーの柵のストッパーを忘れ、利用者が転落しそうになる

場面の説明

介護施設で入浴介助ストレッチャーの柵のストッパーと安全ベルトを忘れてその場から離れたところ、利用者がストレッチャーから落下しそうになる。



利用シーン	移乗 入浴
主な利用場所	浴室・脱衣所
介護保険の種目	移動用リフト（つり具の部分を除く）
分類コード(CCTA95)	093312 (入浴担架・おむつ交換台)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

入浴用のストレッチャーは、一般のストレッチャーよりも幅の狭いものが多く、転落の危険はより高いといえます。柵のストッパーを忘れ安全ベルト装着を怠ったことは重大な落ち度ですが、その場から離れた点も問題です。介助で必要なタオル等を事前に身近に用意しておくなど、より安全で効率的な介護作業のために物の配置や手順を検討しておくことも大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：少しくらいなら離れても大丈夫だろうと思ってしまった
モノ：ストレッチャーのクッションが固く寝心地が悪かった
モノ：柵のストッパー操作が片手ではできない、面倒な手順のものだった
環境：タオルなどの備品が離れた棚に置いてあった
管理：現場での作業手順を確認検討することがなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.

福祉用具ヒヤリハット　研修教材（受講者用）

日付：	所属：	氏名：

Case：396

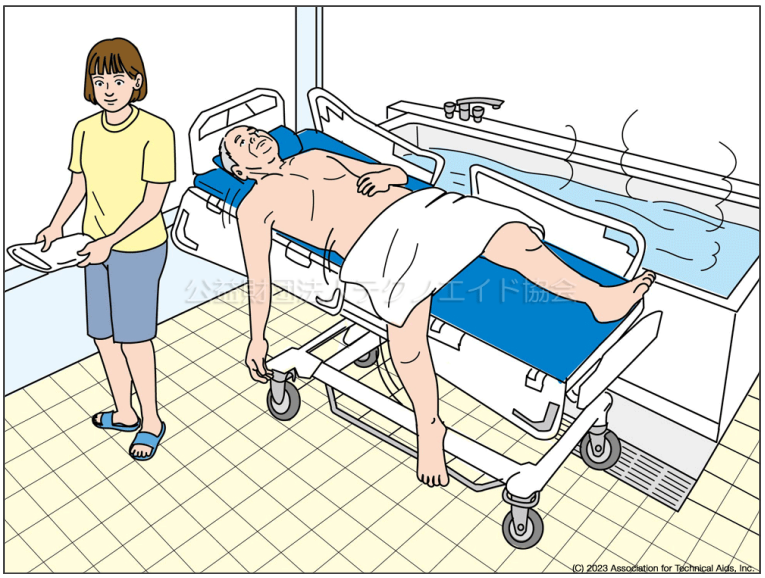
入浴用ストレッチャーの柵のストッパーを忘れ、利用者が転落しそうになる

事例詳細

回答前に見ないこと

場面の説明

介護施設で入浴介助ストレッチャーの柵のストッパーと安全ベルトを忘れてその場から離れたところ、利用者がストレッチャーから落下しそうになる。



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ

作成：公益財団法人テクノエイド協会

Copyright 2025 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.